



文武両輪

～勉強も行事も部活動も～

令和5年 7月10日

【文責】校長 蔦川 誠

より質の高い授業を目指して！

7月7日(金)、市教育委員会教育指導課・総合教育センター・こども支援センターの学校訪問がありました。訪問の目的は、市教育委員会の方針に基づく『『わかった！できた！身についた！』が実感できる質の高い授業づくり』と教師力・学校力の強化に向けての学校の取組状況を把握し、授業改善・授業力向上への指導助言等を行うことにあります。

本校の先生方にとっては、授業改善や授業力向上に向けて、市教育委員会の主任指導主事等の先生方からより専門的な指導助言を受ける貴重な機会となります。

日程としては、1時間目に学校側からの説明と話し合い、2時間目と3時間目に授業参観があり、4時間目に分科会（授業についての指導助言）がありました。授業を参観して、私は感じたことをいくつか載せます。

- ・子どもたちが普段の授業以上に頑張る姿が見られた。(積極的に取り組む姿勢)
- ・子どもたちの表情等から内容を理解しようとする真摯な姿がいつも以上に見られた。
- ・グループ活動では、級友と協力したり楽しんだりしながら学習を進めていた。

次に、全ての授業を参観した教育委員さんと教育指導課長さんからの所感を載せます。

- ・積極的に自分の考えを伝え合う場面が見られ、長者中で目指している「対話的な学び」がよくなされていた。
- ・授業の中で、子どもたちの笑顔がよく見られ、楽しみながら授業に取り組んでいた。
- ・先生の説明をしっかりと聴いたり真剣にワークシートに考えを書き込んだりする場面が見られ、学びに向かう姿勢がすばらしかった。
- ・グループでの話し合いが普段からよく行われている様子がうかがわれた。
- ・先生方の表情がやわらかくて、子どもたちが安心して学ぶことができていた。
- ・先生方と子どもたちの間で、親しさの中にも節度のある関係が感じられてよかった。

私は折に触れて「文武両輪の花を咲かせよう」と全校生徒にお話していますが、今回の学校訪問では、子どもたちの頑張りによって「大輪の文の花を咲かせること」ができたと思います。

